

平成11年2月2日
気 象 庁

岩手山の火山活動に関する 火山噴火予知連絡会統一見解

岩手山では、西岩手を中心とした浅い地震、浅い低周波地震、地下約30km付近の深い低周波地震および火山性微動が、現在も引き続き発生している。しかし、これらの活動レベルは、昨年6－7月頃と比べて全体として低下した。その中で、昨年9月3日の岩手山南西の地震（M6.1）から11月中旬にかけて東岩手の活動がやや顕著であった。

西岩手を中心とする南北に伸張する地殻変動は、全体としては鈍化しているが、局所的に継続している。

これまでのところ、地表付近で地温や噴気の状態に顕著な変化は認められていない。

このように、岩手山の火山活動は、昨年6－7月頃と比較すると低下しているが、昨年3月以前のレベルにまでは下がっていない。火山活動が長期化する可能性は残されており、引き続き活動の推移を注意深く見守る必要がある。